

# DENON<sup>®</sup>

## DA-310USB

D/A CONVERTER

# 取扱説明書

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使い  
いただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

# 目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露(つゆつき)について	4
付属品	5
特長	6
高品質	6
多彩な機能	6
各部の名前	7
フロントパネル	7
ディスプレイ	9
リアパネル	10
<b>接続のしかた</b>	
接続のしかた	11
本機を設置する	12
横向きに設置する	12
縦向きに設置する	13
アンプを接続する	15
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	16
パソコンと接続する	17
AC アダプターを接続する	18

## 再生のしかた

基本操作	20
電源を入れる	20
入力ソースを選ぶ	21
ヘッドホンの音量を調節する	21
ヘッドホンアンプのゲインを設定する	21
D/A コンバーター機能で再生する	22
パソコンと接続して再生する(USB-DAC)	23
デジタル機器と接続して再生する(COAXIAL/ OPTICAL-1/OPTICAL-2)	33

## 設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する	34
オートスタンバイモードをオンにする	34
オートスタンバイモードをオフにする	34

## 困ったときは

こんなときの解決方法	36
故障かな?と思ったら	37
保証と修理について	42

## 付録

D/A コンバーターについて	44
用語の解説	45
主な仕様	46
索引	49

## 使用上のご注意

### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

### お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

### 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

### ステレオ音のエチケット



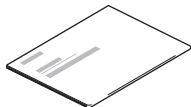
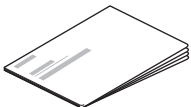
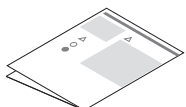
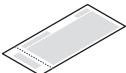
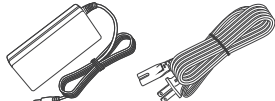
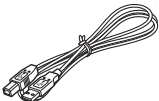
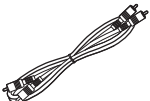
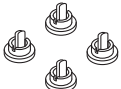
音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 付属品

ご使用になる前にご確認ください。

 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>保証書</p>
 <p>ACアダプター【本機専用】</p>	 <p>USBケーブル</p>	 <p>オーディオケーブル</p>	 <p>キャップ(シルバー)(4個)</p>

# 特長

## 高品質

- **ハイビット・ハイサンプリングを実現した Advanced AL32 Processing Plus**  
デノン独自のデータ補間アルゴリズムによるハイビット、ハイサンプリング化を実現しました。16bit の音声信号を 32bit 精度へハイビット化、さらに 44.1kHz のサンプリング信号を 16 倍にアップサンプリングすることで、より滑らかな波形再現を実現します。また、データの補間は、補間ポイントの前後に存在する多数の点からあるべき点を推測し、より原音に近い理想的な点を補間します。デジタル録音時に失われたデータを精巧に復元することで、歪みのない繊細な描写、正確な音の定位、豊かな低域、原音に忠実な再生を実現しています。
- **アイソレーション設計**  
パソコンおよび COAXIAL 入力から音声データと共に流入するノイズを排除するデジタルアイソレーターを搭載しました。音質に悪影響を与えるノイズをシャットアウトします。
- **クアルコム社製 Qualcomm® DDFA™ テクノロジーを採用したフルデジタルプロセッシングのヘッドホンアンプを搭載**  
高速かつ極めて精度の高いデジタル・フィードバック・ループを用いることにより、飛躍的な音質向上を実現しています。

## Qualcomm® DDFA™

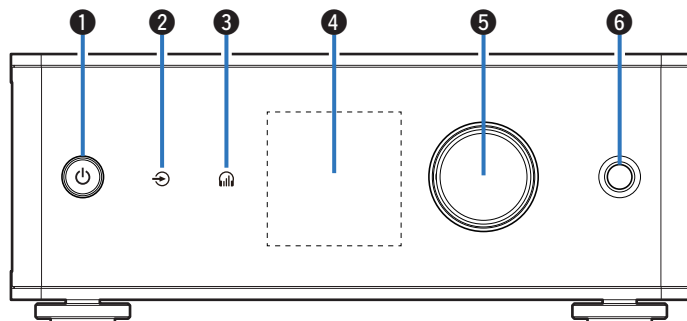
Qualcomm DDFA is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. DDFA is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.

## 多彩な機能

- **ハイレゾリレーション音源の再生に対応した USB-DAC 機能を搭載**  
高解像度のオーディオフォーマットである DSD (2.8/5.6/11.2MHz) や最大 384kHz/32 ビットの PCM ファイルの再生に対応しています。USB-B 接続したパソコンからの高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。
- **デジタル音声入力端子(COAXIAL/OPTICAL-1/2)を搭載**  
外部機器からデジタル音声信号を本機に入力することにより、192kHz/24 ビットまでの PCM 信号を再生できます。
- **ゲイン切替機能を搭載**  
接続するヘッドホンの特性に合わせて切り替えられる、3 段階のゲインコントロール機能を備えています。
- **縦置きに対応**  
本機は縦置きと横置きのどちらにも対応しています。設置方向に合わせて、ディスプレイが自動的に回転します。
- **視認性の高い有機 EL ディスプレイ搭載**
- **消費電力をおさえるオートスタンバイ機能を搭載**

# 各部の名前

## フロントパネル



### ① 電源ボタン(⏻)

電源をオン/スタンバイします。(P.20 ページ)

電源の状態を次のように表示します。

- 電源オン時: ディスプレイ点灯
- スタンバイ時: ディスプレイ消灯

### ② 入力ソース選択スイッチ(↻)

入力ソースを選択します。(P.21 ページ)

### ③ ヘッドホンゲイン切り替えスイッチ(🎧)

ヘッドホン出力のゲインを切り替えます。(P.21 ページ)

ヘッドホン端子にお手持ちのヘッドホンを接続するとアイコンが点灯します。

### ④ ディスプレイ

各種情報を表示します。(P.9 ページ)

### ⑤ ヘッドホン音量調節つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。(P.21 ページ)

#### ご注意

- ヘッドホン接続時のみ調節できます。

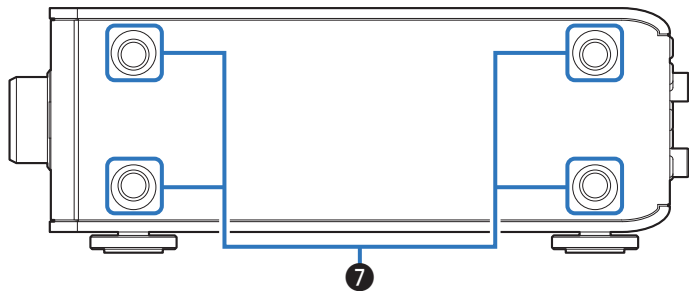
### ⑥ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、アナログ音声出力端子から音が出なくなります。

#### ご注意

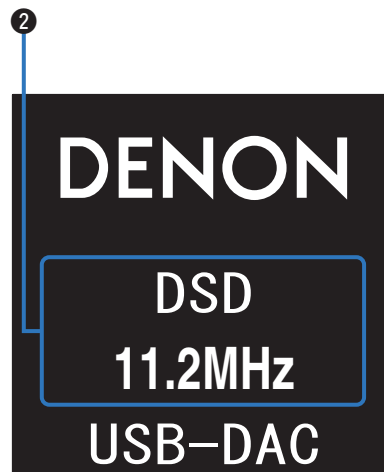
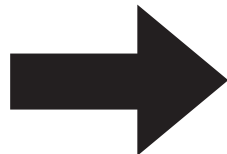
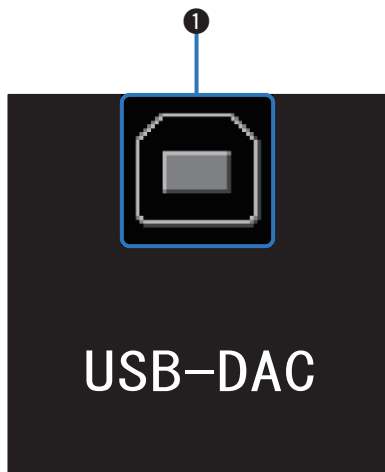
- ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。



- 7 縦置き用フット取り付け穴**  
本機を縦置きする際に使用します。(P.13 ページ)



## ディスプレイ



### ① 入力ソース表示

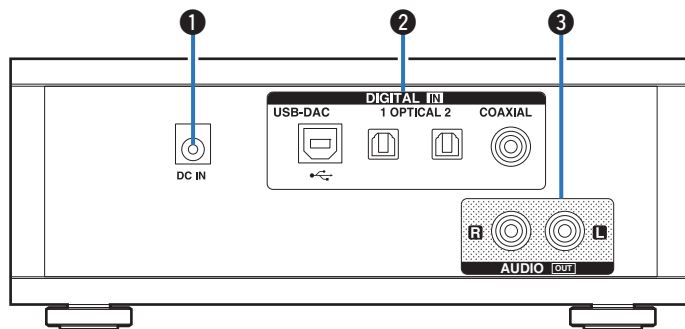
選択している入力ソースによって、次のように表示します。

USB-DAC	COAXIAL	OPTICAL-1	OPTICAL-2

### ② インフォメーションディスプレイ

入力している音声信号の情報などを表示します。

## リアパネル



### ① AC アダプター入力端子(DC IN)

AC アダプターを接続します。(☞ 18 ページ)

### ② デジタル入力端子(DIGITAL IN)

パソコンやデジタル音声出力端子付きの機器を接続します。

- 「デジタル音声出力端子付きの機器を接続する」(☞ 16 ページ)
- 「パソコンと接続する」(☞ 17 ページ)

### ③ アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(☞ 15 ページ)

# 接続のしかた

## 接続のしかた

### ■ 目次





本機を設置する	12
横向きに設置する	12
縦向きに設置する	13
アンプを接続する	15
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	16
パソコンと接続する	17
AC アダプターを接続する	18

### ご注意

- すべての接続が終わるまで AC アダプターをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、AC アダプターのコードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

### ■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

オーディオケーブル (付属)	
光伝送ケーブル (別売り)	
同軸デジタルケーブル (別売り)	
USB ケーブル (付属)	

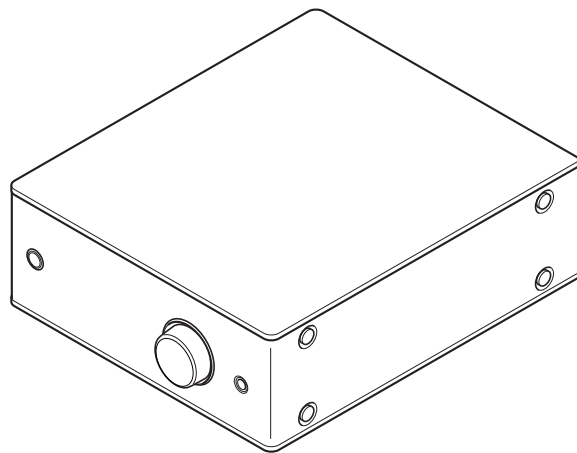
## 本機を設置する

---

横向きと縦向き、2種類の設置ができます。設置場所やお好みに合わせてお選びください。

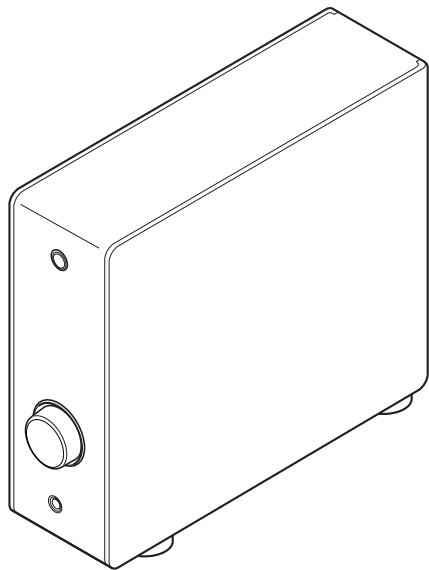
### 横向きに設置する

お買い上げ時は、横向きに設置するようにフットが取り付けられています。

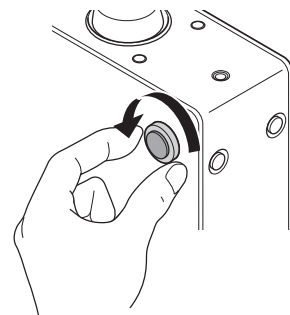


## 縦向きに設置する

ノートパソコンの脇や、狭い場所に設置する場合に適しています。

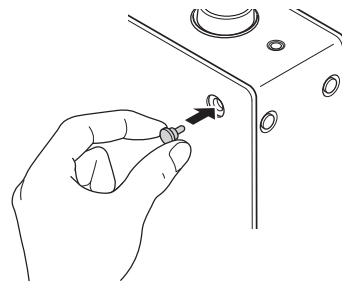


### 1 フットを外す。

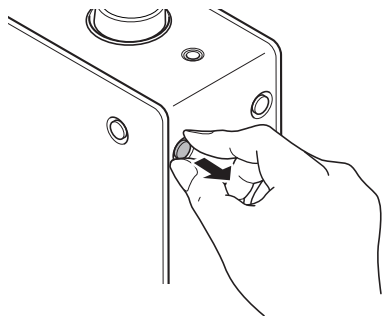


• 4つのフットをそれぞれ反時計回しで外します。

### 2 フットを外した穴に、付属するキャップ(シルバー)をはめる。



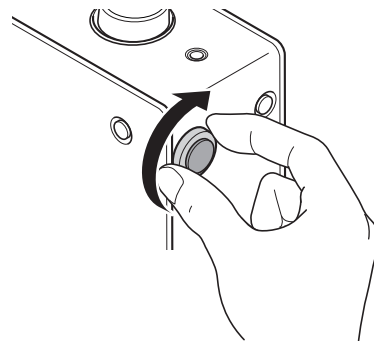
### 3 キャップ(黒)を外す。



#### ご注意

- キャップを外すときに、爪を傷めないようご注意ください。  
必要な場合は先端の細い工具をお使いください。そのとき、本体を  
工具で傷つけないようご注意ください。

### 4 外したフットを時計回しで取り付ける。

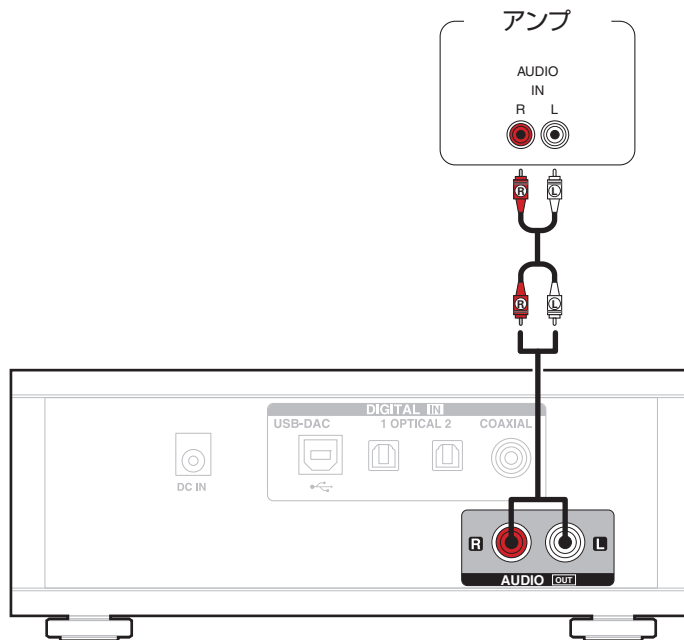


#### ご注意

- フットを取り付けたあとにセットが安定して設置されるよう、必  
要に応じてフットの高さを調整してください。

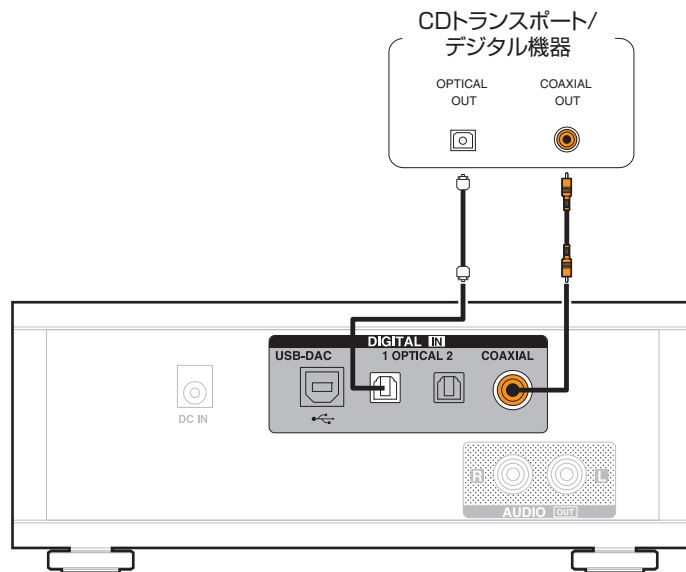
# アンプを接続する

アナログ音声入力端子を持つ機器と接続します。



## デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。(P.33 ページ)



### ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、128kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

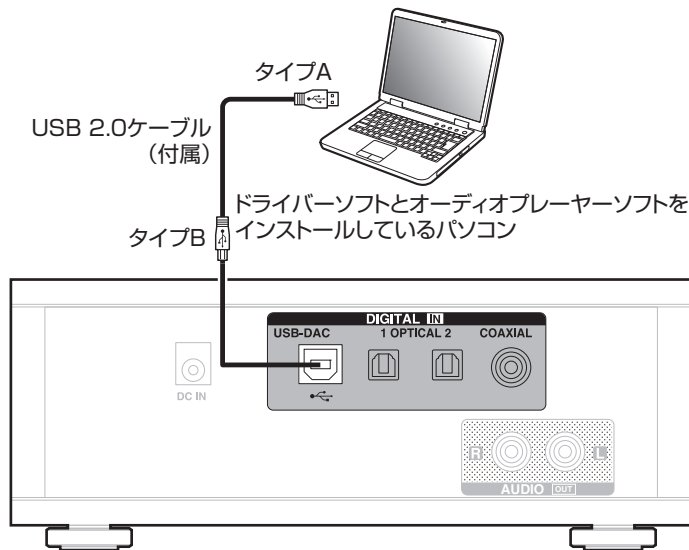


# パソコンと接続する

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます。(参照 23 ページ)

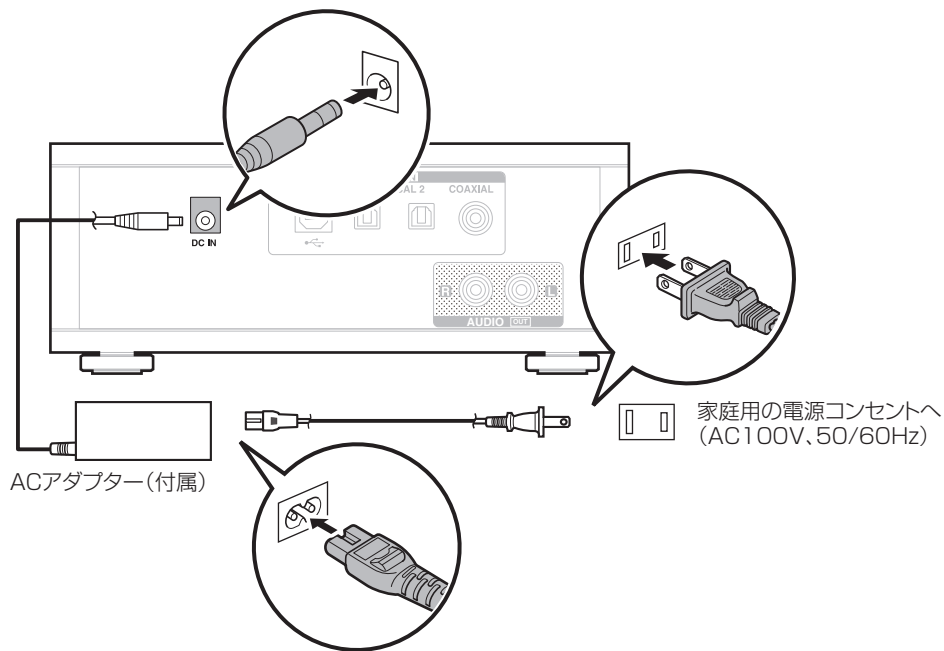
## ご注意

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(参照 23 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの DA-310USB のページからダウンロードしてください。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。



## ACアダプターを接続する

すべての接続が完了したら、ACアダプターをコンセントに差し込みます。



### ご注意

- 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。

# 再生のしかた

## ■ 目次

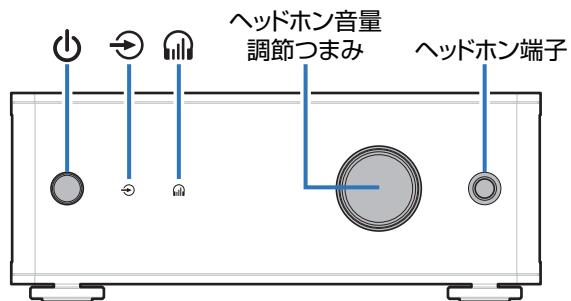
### 基本操作

電源を入れる	20
入力ソースを選ぶ	21
ヘッドホンの音量を調節する	21
ヘッドホンアンプのゲインを設定する	21

### 機器を再生する

パソコンと接続して再生する(USB-DAC)	23
デジタル機器と接続して再生する(COAXIAL/OPTICAL-1/ OPTICAL-2)	33

# 基本操作




## 電源を入れる

- 1 電源ボタンを押して、電源を入れる。  
ディスプレイが点灯します。
- 電源をスタンバイにする
- 1 電源ボタンを押す。  
ディスプレイが消灯します。

### ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

## 入力ソースを選ぶ

- 1  をタッチして、再生する入力ソースを選ぶ。  
ディスプレイに次のアイコンを表示します。



USB-DAC: パソコンの音声を再生します。



COAXIAL: COAXIAL 端子に接続した機器を再生します。



OPTICAL-1: OPTICAL1 端子に接続した機器を再生します。



OPTICAL-2: OPTICAL2 端子に接続した機器を再生します。

## ヘッドホンの音量を調節する




- 1 ヘッドホン音量調節つまみを回して、音量を調節する。  
ディスプレイに音量を表示します。



- ヘッドホンを接続しない場合は、音量調節機能がはたらきません。

## ヘッドホンアンプのゲインを設定する

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“Low”側に、高い場合は“High”側に設定することをおすすめします。

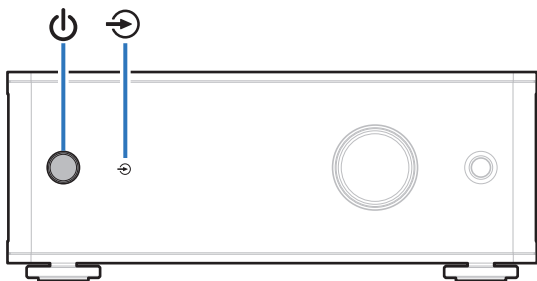
- 1 **ヘッドホンを接続する。**  
 が点灯します。
- 2  をタッチして、ヘッドホンアンプのゲインを設定する。  
 をタッチするたびに、ヘッドホンアンプのゲイン設定が切り替わります。

High/Mid/Low (お買い上げ時の設定:Mid)



- ゲイン設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げてからおこなってください。

## D/A コンバーター機能で再生する



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます。(D/A コンバーター機能)

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

## パソコンと接続して再生する(USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

### ■ パソコン(動作環境)

#### OS

- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10
- Mac OS X 10.9、10.10 および 10.11

#### USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver. 2.0

#### ご注意

- 当社ではこれらの動作環境で確認をしていますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

Windows OS

専用ドライバーソフトのインストール(☞23 ページ)

Mac OS

オーディオ装置の確認(☞30 ページ)

### ■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

#### □ パソコンヘドライバーソフトをインストールする方法

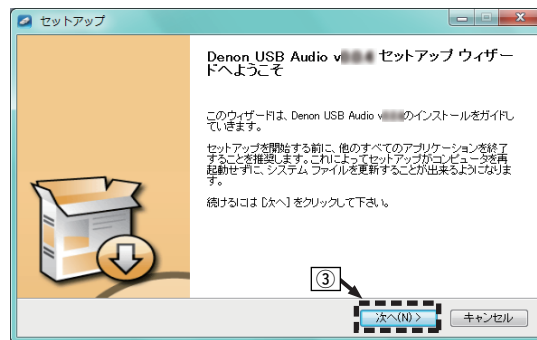
- 1 本機とパソコンの USB 接続を外す。
  - 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
  - パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合、USB 接続を外して、パソコンを再起動してください。
- 2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト DA-310USB のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。
- 3 ダウンロードファイルを解凍し、exe ファイルをダブルクリックする。

## 4 ドライバーソフトをインストールする。

- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK”をクリックする。

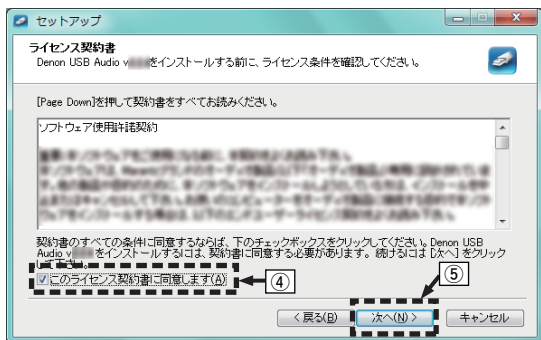


- ③ ウィザードメニューが表示されたら “次へ(N)” をクリックする。

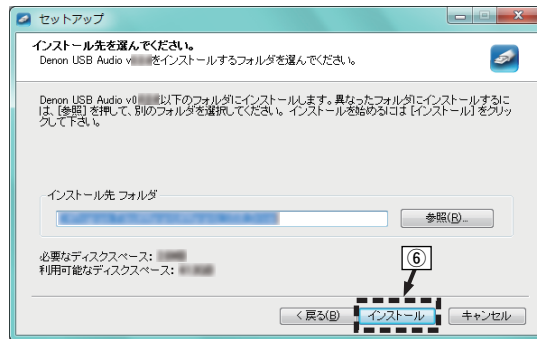




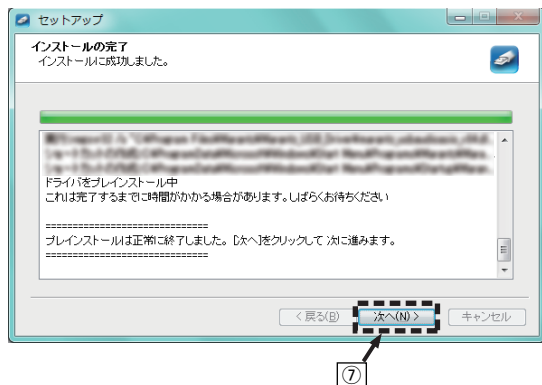
- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“このライセンス契約書に同意します(A)”を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)”をクリックする。



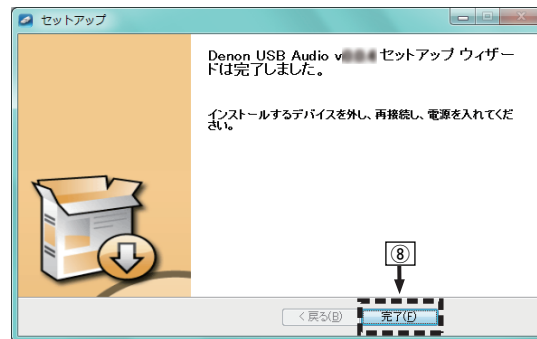
- ⑥ インストール開始ダイアログの“インストール”をクリックする。
  - インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



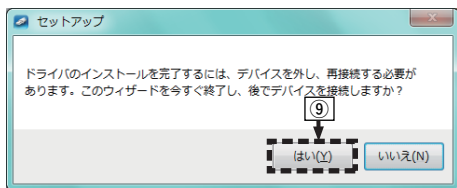
⑦ “次へ(N)”をクリックする。



⑧ インストール終了画面を表示したら“完了(F)”をクリックする。



- ⑨ “はい(Y)” をクリックする。



## 5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンと接続する」をご覧ください。  
([17 ページ](#))

## 6 電源ボタンを押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

## 7 電源ボタンのアイコンをタッチして、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

## 8 インストールしたドライバーを確認する。

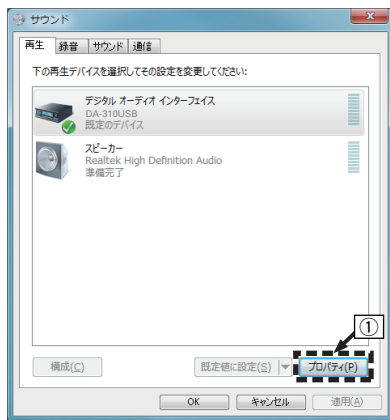
- ① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
  - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
  - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“DA-310USB”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
  - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“DA-310USB”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

## 9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

① サウンドメニュー画面の“DA-310USB”を選び、“プロパティ”をクリックする。

- DA-310USB のプロパティ画面を表示します。



② “詳細”タブをクリックする。

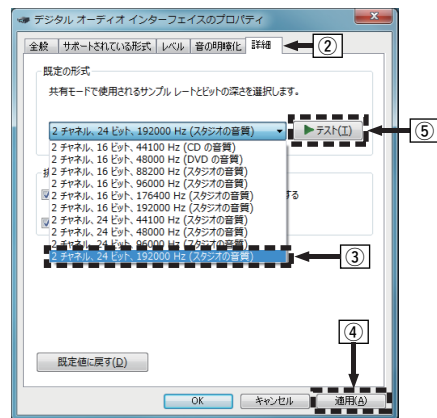
③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。

- “2チャンネル、24ビット、192000 Hz(スタジオの音質)”に設定することをおすすめします (Windows 7)。
- “2チャンネル、32ビット、192000 Hz(スタジオの音質)”に設定することをおすすめします (Windows 8/Windows 8.1/Windows 10)。

④ “適用(A)”をクリックする。

⑤ “テスト(T)”をクリックする。

- 本機からパソコンの音声が入力されることを確認します。

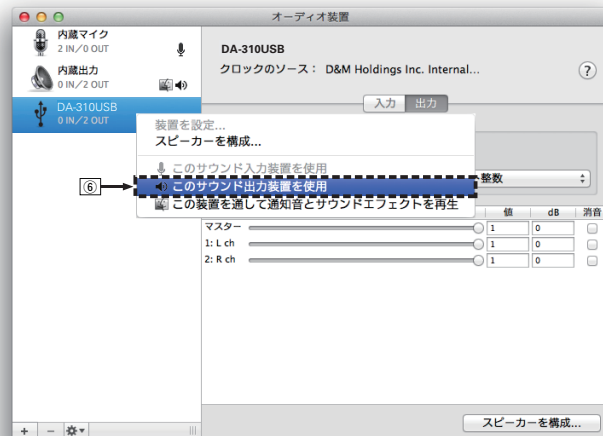


#### ご注意

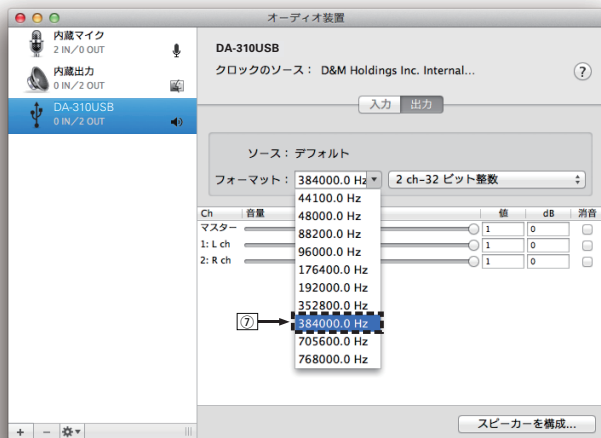
- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- サンプリング周波数 352.8kHz/384kHz のファイルをダウンサンプリングせずに再生する場合は、ASIO (Audio Stream Input Output) ドライバーに対応したプレーヤーソフトが必要です。ASIO ドライバーでの再生は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、<http://denon.jp/jp/html/faq.html> の FAQ をご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

## ■ オーディオ装置の確認(Mac OS Xのみ)

- ① 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続する。
  - 接続のしかたは「パソコンと接続する」をご覧ください。  
(17 ページ)
- ② **⏻** を押す。
- ③ **⏻** をタッチして、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。
- ④ パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
  - ユーティリティの一覧を表示します。
- ⑤ “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
  - “オーディオ装置”画面を表示します。
- ⑥ “DA-310USB”に、このサウンド出力装置を使用のチェックマークがあることを確認する。
  - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“DA-310USB”を選択してから副ボタンをクリックして、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



- ⑦ “DA-310USB”のフォーマットを選択する。
- “384000.0Hz”、“2ch-32 ビット整数”に設定することをおすすめします。



- ⑧ AudioMIDI 設定を終了する。

## ■ 再生

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)にパソコンを接続してください。(☞ 17 ページ)

### 1 をタッチして、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。



(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

## ■ 再生できる音声信号について


「D/A コンバーターについて」(☞ 44 ページ)をご覧ください。

### ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。



## デジタル機器と接続して再生する (COAXIAL/OPTICAL-1/ OPTICAL-2)

- 1  をタッチして、入力ソースを“COAXIAL”、“OPTICAL-1”または“OPTICAL-2”に切り替える。入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。



(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

## ■ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」([P.44](#) ページ)をご覧ください。

### ご注意

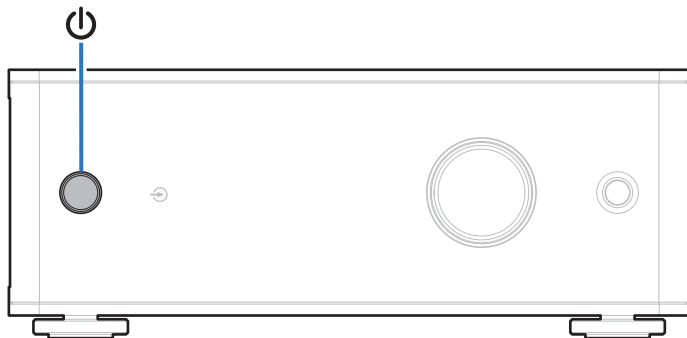
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

# 設定のしかた

## オートスタンバイモードを設定する

音声の入力がない状態で本機を約 30 分間操作しないとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定できます。

お買い上げ時は、オートスタンバイモードを“オフ”に設定しています。



### オートスタンバイモードをオンにする

- 1 電源ボタンを 5 秒以上押す。  
ディスプレイに“Auto Standby On”を表示します。

### オートスタンバイモードをオフにする

- 1 電源ボタンを 5 秒以上押す。  
ディスプレイに“Auto Standby Off”を表示します。

# 困ったときは

## ■ 目次

### こんなときの解決方法

テレビの音声を本機と接続したアンプで再生したい	36
テレビのヘッドホン端子の音質に満足できない	36
電力の消費をおさえたい	36

### 故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	37
音がまったく出ない	38
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	39
希望する音が出ない	39
パソコン内のファイルを再生できない(USB-DAC)	40
デジタル機器の音声を再生できない(COAXIAL/ OPTICAL-1/OPTICAL-2)	41
入力ソースが切り替わらない	41
ヘッドホンアンプのゲイン設定が切り替わらない	41

## こんなときの解決方法

### テレビの音声を本機と接続したアンプで再生したい

- テレビのデジタル音声出力端子を、本機のデジタル音声入力端子(COAXIAL、OPTICAL-1 または OPTICAL-2)に接続してから、本機の入カソースを接続した端子(COAXIAL、OPTICAL-1 または OPTICAL-2)に切り替えてください。(P.21 ページ)
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2チャンネルリニア PCM です。

### テレビのヘッドホン端子の音質に満足できない

- テレビの音声を本機に入力し、本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してお楽しみください。  
テレビのデジタル音声出力端子を、本機のデジタル音声入力端子(COAXIAL、OPTICAL-1 または OPTICAL-2)に接続してから、本機の入カソースを接続した端子(COAXIAL、OPTICAL-1 または OPTICAL-2)に切り替えてください。(P.21 ページ)
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2チャンネルリニア PCM です。

### 電力の消費をおさえたい

- オートスタンバイモードをオンに設定してください。(P.34 ページ)
- 本機をしばらくお使いにならない場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

## 故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

### ■ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの AC アダプターの差し込みを点検してください。	<a href="#">18</a>
	• 本機と AC アダプターの接続を確認してください。	<a href="#">18</a>
	• スタンバイモードになっています。電源ボタン(⏻)を押してください。	<a href="#">20</a>
	• 本機に付属の AC アダプターをお使いください。	<a href="#">18</a>
電源が自動的に切れる。	• オートスタンバイモードがオンになっています。音声入力がない状態で約 30 分間経過すると、本機は自動的にスタンバイになります。オートスタンバイモードをオフにするには、オートスタンバイモード時に電源ボタン(⏻)を約 5 秒以上長押ししてください。	<a href="#">34</a>

## ■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。	• すべての機器の接続を確認してください。	<a href="#">11</a>
	• パソコンのサウンド設定を確認してください。	<a href="#">23</a>
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	• アンプの入カソースの設定を確認し、本機を接続している端子に切り替えてください。	—
	• 適切な入力ソースが選択されているか確認してください。	<a href="#">21</a>
	• 本機および接続している機器の電源が入っているか確認してください。	—
	• ヘッドホン音量が最小になっています。音量を適切な大きさに調節してください。	<a href="#">21</a>
	• 本機のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、アナログ音声出力端子から音が出なくなります。	<a href="#">7</a>

## ■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンの曲の再生中に音が途切れる。	• パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。	—

## ■ 希望する音が出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ヘッドホンの音量が小さい。	• インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使用するときは、ヘッドホンゲイン切り替えスイッチ(🔊)をタッチしてヘッドホンアンプのゲイン設定を“Mid”または“High”に切り替えてください。	<a href="#">21</a>

## ■ パソコン内のファイルを再生できない(USB-DAC)

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	• ご使用のパソコンの USB 端子に USB ケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別の USB 端子に挿してください。	<a href="#">17</a>
	• ご使用のパソコンを再起動してください。	—
	• ご使用のパソコンの OS を確認してください。	<a href="#">23</a>
	• ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。	<a href="#">23</a>
再生デバイスとして本機が選択されていない。	• パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。	<a href="#">23</a>
“Unlocked”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。	<a href="#">44</a>
“Unsupported”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。	<a href="#">44</a>
	• ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“DA-310USB”のフォーマットが 384000.0Hz 以下に設定されているか、確認してください。	<a href="#">30</a>



## ■ デジタル機器の音声を再生できない(COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2)

症状	原因 / 対策	関連ページ
“Unlocked”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。	<a href="#">44</a>
“Unsupported”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。	<a href="#">44</a>

## ■ 入力ソースが切り替わらない

症状	原因 / 対策	関連ページ
入力ソース切り替えスイッチ(⊕)をタッチしても、入力ソースが切り替わらない。	• 入力ソース切り替えスイッチ(⊕)を指で正しくタッチしてください。	<a href="#">21</a>

## ■ ヘッドホンアンプのゲイン設定が切り替わらない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ヘッドホンゲイン切り替えスイッチ(🎧)をタッチしても、ヘッドホンアンプのゲイン設定が切り替わらない。	• ヘッドホンゲイン切り替えスイッチ(🎧)を指で正しくタッチしてください。	<a href="#">21</a>

# 保証と修理について

---

## ■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。  
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## ■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。  
詳しくは保証書をご覧ください。

### ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

## ■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

## ■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。  
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。  
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。  
別途駐車料金をいただく場合があります。

## ■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

## ■ 修理を依頼されるとき

### 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

### 修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

## ■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

## ■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

# 付録

## D/A コンバーターについて

### ■ 再生できる音声フォーマットの仕様

#### □ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD (2チャンネル)	2.8/5.6/11.2MHz	1ビット
リニア PCM (2チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/ 384kHz	16/24/32 ビット

#### □ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2チャンネル)	32/44.1/48/64/ 88.2/96/128/ 176.4/192kHz	16/24 ビット

# 用語の解説

## Advanced AL32 Processing Plus

デノン独自のアナログ波形再現技術です。  
16bit のデジタルデータを 32bit に拡張することで微小信号の再現性を高めました。

## DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 $\Delta$ - $\Sigma$  変調されたデジタルオーディオです。

## サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。  
1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

## ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

## リニア PCM

圧縮していない PCM (Pulse Code Modulation) 信号です。  
MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

# 主な仕様

---

## ■ オーディオ特性

### • アナログ出力

チャンネル:

再生周波数範囲:

再生周波数特性:

SN 比:

ダイナミックレンジ:

高調波歪率:

出力レベル:

[DSD 信号]

2 チャンネル

2Hz~100kHz

2Hz~50kHz(-3dB)

112dB(可聴帯域)

105dB(可聴帯域)

0.0018%(1kHz, 可聴帯域)

2.0V(10k $\Omega$ )

[PCM 信号]

2 チャンネル

2Hz~96kHz

2Hz~96kHz(サンプリング周波数:192kHz)

112dB

105dB

0.0018%(1kHz)

2.0V(10k $\Omega$ )

### • デジタル入力

フォーマット:

同軸入力:

光入力:

波長:

デジタルオーディオインターフェース(リニア PCM)

0.5Vp-p/75 $\Omega$

-27dBm 以上

660nm

## • ヘッドホン出力

定格出力:

2チャンネル  
380mW+380mW(32Ω、1kHz、T.H.D 0.7%)  
130mW+130mW(300Ω、1kHz、T.H.D 0.7%)  
74mW+74mW(600Ω、1kHz、T.H.D 0.7%)

出力端子:

ヘッドホン: 負荷 8~600Ω

全高調波歪率:

0.003%(32Ω、1kHz)

S/N比:

112dB(32Ω、1kHz、IHF-A)

周波数特性:

5Hz~80kHz(32Ω、-3dB)

## ■ 総合

ACアダプター:

入力: 100V、50/60Hz  
出力: DC 12V、2.8A

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

目次

接続のしかた

再生のしかた

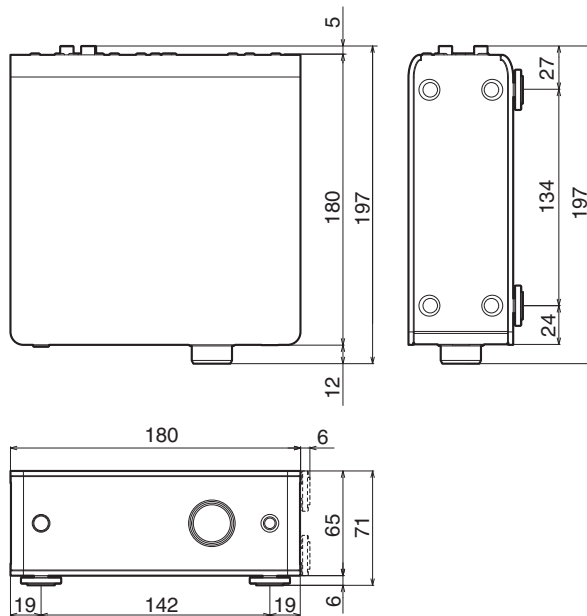
設定のしかた

困ったときは

付録

## ■ 寸法

単位:mm



■ 質量:1.5kg



# 索引

**D**  
D/A コンバーター機能 ..... 22, 44

**お**  
オートスタンバイ ..... 34  
音量の調節 ..... 21

**こ**  
故障かな?と思ったら ..... 37  
こんなときの解決方法 ..... 36

**た**  
縦置きする ..... 13

**て**  
ディスプレイ ..... 9

**は**  
パソコン ..... 17, 23

**ふ**  
フロントパネル ..... 7

**よ**  
横置きする ..... 12

**り**  
リアパネル ..... 10






当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。


## お客様相談センター


 0570 (666) 112

FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 9:30 ~ 17:30  
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
  - 上記番号がご利用いただけない場合  050 (3388) 6801  
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
  - お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。  
<http://denon.jp/jp/html/faq.html>
  - メールでお問い合わせをいただくこともできます。  
<http://denon.jp/jp/html/contact.html>
- \* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

## 修理相談窓口

 0570 (666) 811

- 受付時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30  
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
  - 上記番号がご利用いただけない場合  0466 (86) 9520
  - 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認ください。  
<http://denon.jp/jp/html/service.html>
  - 代表修理窓口  
首都圏サービスセンター  
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2010-16  
FAX : 0466 (86) 9522
- \* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

# DENON<sup>®</sup>

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in China 5411 11427 10AD

Copyright ©2016 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.